

今月の特集は、区内在住の4組の親子による白石清掃工場、札幌市民防災センター・白石消防署見学についてのレポートです。
ごみ処理のこと、防火・防災のこと、皆さんも学んでみませんか。

※この特集の取材は、いずれも1月に行ったものです。



おおさか や み き
大坂谷 美希さん
こはく
香百ちゃん(8歳)



てづか ひでひこ
手塚 秀彦さん
ひろあき
洋耀くん(11歳)

白石清掃工場

白石清掃工場は、燃やせるごみを焼却する施設です。市内3工場(白石、発寒、駒岡)の中で最も多い、一日最大900トンのごみを処理できます。焼却時に発生する熱を利用して発電するなど、環境に配慮した取り組みも行っています。



展示コーナー



ごみ処理の歴史などのパネル

燃やせるごみに混ざった金属製のフライパンなどは、燃え残ってしまいます。



燃え残った金属の展示



昔のし尿処理の道具

焼却炉の様子

展示コーナーには、工場設備の紹介のほか、ごみ処理の歴史などの資料がたくさん。焼却炉の中の様子をモニターで見ることができます。

ごみ分けルールを守ろう!

燃やせるごみに金属が混ざっていると、焼却炉の故障につながる可能性があります。ごみ分けルールを守りましょう。



燃え残ったフライパン・空き缶・やかん

ごみピット



クレーン動かすの難しそう

中央制御室



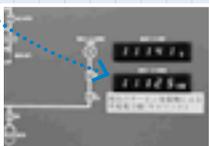
職員が交代で、工場全体の状態を24時間集中監視しています。

環境にやさしいね



熱を有効利用

発電量を表示



ごみの焼却で生まれた熱を利用して蒸気をつくり、施設内の給湯や冷暖房などに利用しています。蒸気は発電にも生かされ、施設内の電気を賄うほか、余った電気は電力会社などに売却しています。

収集したごみは、いったんごみピットに貯められます。ピットの深さは35メートル。最大2,700トンのごみが入ります。一度に15トンのごみをつかめる大きなクレーンで、ピット内のごみを焼却炉に入れます。

